欄に記入してください
作用 一直に入し ヒン/こごり・

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社オンド 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市八本松飯田一丁目1番1号

(3)業種

自動車部分品・附属品製造業 3113

2 計画の期間

本計画の期間は2019年度を基準年度とし、2020年度から2024年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO₂)、削減率(%)

中世·排山重(t CO ₂)、削减率(/o)					11/2/		
温室効果	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段:見込量 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d)、下段:削減量の対基準年度比(e))				
ガスの種類	平成 年度	令和 年度 ()	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
エネルギー							
起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー							
起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
) h							
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
型/1.一办士							
一酸化二窒素		9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他							
温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス							
実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス	室効果ガス						
みなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標: 鋼材重量(千t)

温室効果	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段:原単位(b) 下段:削減率(c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d)、下段:削減量の対基準年度比(e))				
ガスの種類	令和元年度 (2019)	令和6年度 (2024)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度
エネルギー	425. 4	404. 1	407.0	367.0	355.3	365. 7	
起源CO ₂	425.4	5. 0	4.3	13. 7	16.5	14.0	100.0
非エネルギー							
起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン							
, , ,		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素							
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他							
温室効果ガス		0. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス		404. 1	407.0	367.0	355. 3	365. 7	
排出量総計	120. 1	5. 0	4. 3	13. 7	16. 5	14. 0	100.0
エネルギー消費	エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	163. 5	181. 1	172.3	166.8	151. 7	
		5. 0	-5.2	-0.1	3.1	11.9	100.0
実績に対する自己評価					変更により		

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目削減量等		具体的な取組		
1	温室効果ガス(エネル	エネルギー起源C02の削減 基準年度比:14.0%削減	・照明の省電力改善 (水銀灯/蛍光灯⇒LED化) ・加工機の付帯設備のアイストップ改善		
2					
3					
4					

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組(環境価値の活用等)

	一 価主効木み ハットな しが山重ッパが間に関する状態(《永远曲世》216713年7
	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

_	\cup	- ,— , ,					
L		項目	削減量等	具体的な取組			
	1						
	2						
	3						

[※] 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。